

## 5-2 ウエペケレ

「スルクマツ チクペニカムイ イカオピューキ」

トリカブトとエンジュのカムイが私を助けた

語り：貝澤とうるしの

シノ ニシパ アネ ヒネ アナニケ、パクノ ニシパ イサム ペ アネ ワ  
sino nispa a=ne hine an=an h\_ike, pakno nispa isam pe a=ne wa  
私は本当の長者で、並び立つほどの者がいないほどの者であったので

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ アエアヌラ…… アエアウナルラ ワ  
yuk ne ciki kamuy ne ciki a=eanura... a=eawnarura wa  
鹿であれ熊であれ私は獲って

ネプ アエ ルスイ カ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ コロカ  
nep a=e rusuy ka nep a=kor\_ rusuy ka somo ki korka  
何を私は食べたいともほしいとも思わないでいたのだが、

オラウン ウコポサカン ワ ポエイコイトウパアン アクス  
oraun ukoposak=an wa poeykoytupa=an akusu  
私たちには子どもがおらず、子どもがほしかったので、

オロワノ アマチ アナクネ  
orowano a=maci anakne  
そこで私の妻は、

「ポンマテトウナン ワ アコラク ピリカ  
“ponmatetun=an wa a=kor y\_ak pirka  
「私たちが二人目の妻を迎えるのがよい、

ヤク イコイヨマップ ポカ アン クス ネ ナ ネ ナ」  
yak ikoy'omap poka =an kusu ne na ne na”  
そうしたら私は（その人との間にできた子どもを）可愛がるばかりもしましょう、しましょう」

セコロ ハウエアニ カ

sekor hawean h\_i ka

と言うけれど

アエランポキウエヌミ ネ ペコロ ヤイヌアン ワ

a=erampokiwen h\_umi ne pekor yaynu=an wa

かわいそうなことだなと私は思っ、

ポンマテトゥナン カ ソモ キ アイネ

ponmatetun=an ka somo ki ayne

二人目の妻をめとることもしなかったが、

イパナケ タ コタン コン ニシパ トウ マツネポ コロ

i=panake ta kotan kor\_nispa tu matnepo kor

私から川下の方に、村長に二人の娘がいて、

ポン ワ アニケ ポ ヘネ シレトッコロ カ キ

pon wa an h\_ike po hene siretokkor ka ki

その年下の方は、とても器量が良く、

アリキキ プ ネ ヒ エラマン ペ ネ クス

arikiki p ne hi eraman pe ne kusu

働き者であることを妻は見て取って、

ポ エウンノ ハウエアシ ヒクス

po eunno hawean hikusu

なおさらその方向へ（妻に迎えるべきだと）主張するものだから、

オラ アエトゥニネ ユプ ウタリ カ ラムオシマ オナ ウタリ カ キ ワ

ora a=etun h\_ine yup utari ka ramuosma ona utari ka ki wa

私がめとることになると、娘の兄たちも同意し、娘の両親も同意したので、

アエヤイライケ コロ アエトゥニネ アコン ルウエ ネ ア プ

a=eyayrayke kor a=etun h\_ine a=kor\_ruwe ne a p

私は感謝をして、私はその娘をめとって妻にしたところ、

ソンノ カ オッカヨ ヘカチ コロ ワ エアラキンネ アエヤイコブンテク コロ  
sonno ka okkayo hekaci kor wa earkinne a=eyaykopuntek kor  
本当に男の子ができて、私たちはとても喜んで、

パロ アオイキ コロ オカアナイネ  
paro a=oyki kor oka=an ayne  
私が彼らを養いながら暮らしていたところ、

タネ パシ ワ ホユトウ…… ホユプ パクノ イキ コロ アン ワ  
tane pas wa hoyutu... hoyupu pakno iki kor an wa  
今では（その男の子は）駆けたりするまでになり、

ポヘネ アエヤイコブンテク アイネ  
pohene a=eyaykopuntek ayne  
なおいっそう私は喜んで、そしてその後、

トゥイマ クチャ カ ハンケ クチャ カ コロ クル アネ プ ネ クス  
tuyma kuca ka hanke kuca ka kor kur a=ne p ne kusu  
私は遠い狩小屋と近い狩小屋の両方を持っていて、

トゥイマ クチャチセ オルン エキムネアン ルスイ クス  
tuyma kucacise or un ekimne=an rusuy kusu  
遠くの方の狩小屋へ向かって私は山に入りたくなったので、

アラパアン ルウェ ネ ア プ  
arpa=an ruwe ne a p  
私は出かけたところ、

ナニ アプカサナ アナ クアリアン したり キ アイネ  
NANI apkas=an a =an a kuari=an SITARI ki ayne  
私はどんどん歩いて、仕掛け弓をしかけたりして、

アプカサナ アナ アイネ  
apkas=an a =an a ayne  
私は歩きに歩いて、

タネ トケシ サナン クチャチセ オルン キ アクス  
tane tokes san=an kucacise or un ki akusu

もはや夕方になって狩小屋に向かって下って行って、

クチャチセ キム<sup>田</sup> タ イロンネ トマム アン ペ ネ ア プ  
kucacise kim ta ironne tomam an pe ne a p

狩小屋の山手に深く茂った湿地があったのだが、

エウン イネ ウレペツ ウシ ペ アフン オカケ アン ルウエ アナク  
eun ine urepet us pe ahun okake an ruwe an y\_ak

そこに四本の指を持った者（魔熊）が入っていった跡があり、

ホタシヌアン クニ アラム コロ サナニネ アクス  
hotasnu=an kuni a=ramu kor san=an h\_ine akusu

ということはなにか危険を感じるなど思いながら私は下って行くと、

ソモ カ エネ シリキ クナク アラム ア ヒ  
somo ka ene siriki kunak a=ramu a hi

そのようなことがあるとは思わなかったことに

イエトク ウン アコロ クチャチセ オルン スプヤ アッ コロ シラン。  
i=etok un a=kor kucacise or un supuya at kor siran.

私が着く前に私の狩小屋で煮炊きの煙が立っている。

マク ネ シリ アン セコロ ヤイヌアン コロ サナナクス  
mak ne siri an sekor yaynu=an kor san=an akusu

どうしたことだろうと私は思いながら下って行くと、

アポンマチ アポロマチ ウエネウサラ コロ オカ。  
a=ponmaci a=poromaci uenewsar kor oka.

私の二人目の妻と最初の妻とがあれこれと話をしながらいた。

ピリカノ シピネ パ ヒネ ウエネウサラ コロ オカ。  
pirkano sipine pa hine uenewsar kor oka.

きれいに身支度をして、あれこれ話をしていた。

ウエミナウシウシ<sup>[2]</sup> ウエネウサラ コロ オカ イネ  
ueminausiusi uenewsar kor oka h\_ine

二人で笑い合いながらあれこれ話をしていて、

サナン アクス エネ ハウエオカ イ。  
san=an akusu ene haweoka h\_i.

私が下りていくところ言った。

「アヘコテ ニシパ シンキ クニ アラム ヤッカ  
“a=hekote nispa sinki kuni a=ramu yakka

「私の夫は疲れているだろうと思うのですが、

トオカ ウサク ウサ オヤオヤプ チセ コロ カムイ ヘコテ エアリ ワ  
tooka usak usa oyaoyap cise kor kamuy hekote e=ari wa

あそこにある雑多ないろいろの物を家の守り神へ向けてあなたは置いて、

オラ チセ コロ カムイ オシマケ タ  
ora cise kor kamuy osmake ta

家の守り神の後ろで、

イテキ エハウエ エアシテ イテキ エモイモイケ ノ  
iteki e=hawe e=aste iteki e=moymoyke no

あなたは声を出すこともせず動くこともしないで

トゥ カムイ シンリッ レ カムイ シンリッ エオペッターリ<sup>[3]</sup> コロ  
tu kamuy sinrit re kamuy sinrit e=opettari kor

二つのカムイの素性、三つのカムイの素性を述べながら

エアン ペ ネ ナ」

e=an pe ne na”

助けを請うているのですよ」

セコロ ハウエオカ ヒクス オラウン ネノ イキアニネ ウサク  
sekor haweoka hikusu oraun neno iki=an h\_ine usak

と（二人が）言うので、私はそのようにして、

ウサ オヤオヤプ カムイ エコパシ アアヌ。

**usa oyaoyap kamuy ekopas a=anu.**

雑多ないろいろの物を（家の守り）神に向けて立てかけて置いた。

カムイ イナウトウンブ<sup>[4]</sup> オロ エウシ ワ アン ペ ネ クス

**kamuy inawtumpu oro eus wa an pe ne kusu**

（家を守る）カムイは、イナウの箱のところに立てかけてあるものなので、

センピリケヘ タ エシリコパサン ノ アナン ルウェ ネ ア プ

**sempirkehe ta esirkopas=an no an=an ruwe ne a p**

その後ろに私はもたれかかっていたところ、

ラポッケヘ スケ パ ウコ…… ウエネウサラ コロ オカ ハウエ エネ アニ。

**rapokkehe suke pa uko... uenewsar kor oka hawe ene an h\_i.**

その間に（二人の妻は）煮炊きをし、あれこれ話をしているのは次のようであった。

「ヘンパラ アコン ニシパ イワク ルウェ アン。シンキ クニ アラム ワ

**“hempara a=kor\_ nispa iwak ruwe an. sinki kuni a=ramu wa**

いつ私たちの主人は帰って来るのだろうか。疲れているだろうと思うので、

ポ エネ ネ ワ イペ クニ ネ<sup>[5]</sup> スケアン コロ オカアナ プ

**po ene ne wa ipe kuni ne suke=an kor oka=an a p**

なおさらどうにかして食事をするように料理をしていたのだが、

ヘンパラ イワク ルウェ アン」

**hempara iwak ruwe an”**

いつ帰って来るのだろうか」

セコロ ハウエオカ コロ オカ。

**sekor haweoka kor oka.**

と話している。

アオヤモクテ アオクヌレ コロ アナン アイネ

**a=oyamokte a=okunnure kor an=an ayne**

私は不思議に思い、ひどく驚いていると、

ヘマンタ アプカシ フマシ ルウエ ネ アクス

hemanta apkas hum as ruwe ne akusu

何かが歩く音がして、

エネ アナン クニ ネノ アン イネノ アン アイヌ アフン シリ キ アクス

ene an=an kuni neno an i=nenno an aynu ahun siri ki akusu

私さながらの、私にそっくりの人間が入っていき、そうすると、

「アヘコテ ニシパ シンキ イポロ コロ ワ イワク ルウエ

“a=hekote nispa sinki ipor kor wa iwak ruwe

「私の旦那様は疲れた顔色をして帰ってきて、

ポ タク<sup>[6]</sup> アケムヌ ナ。ホクレ イペ ヤン イペ ヤン」

po tak a=kemnu na. hokure ipe yan ipe yan”

とても気の毒なことですよ。さあさあお食べなさいお食べなさい」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と（妻の一人が）言うと

イメキケ イメク。イタンキ オロ イオ イケ イオ

imek h\_ike imek. itanki or io h\_ike io

片方（の妻）が食べ物を配膳した。片方がお椀によそい、

オラウン コプニ ヒケ コプニ ヒネ

oraun kopuni hike kopuni hine

もう一方がそれを差し出して、

オロワノ イペレ イペレ クシ イエ パ イペ コロ アン。

orowano ipere ipere kus ye pa ipe kor an.

そして食べなさい食べなさいと言ったので、（その者は）食事をしていた。

ソレクス トゥ ピヌイタク レ ピヌイタク

sorekusu tu pinuytak re pinuytak

私は二つのささやく言葉、三つのささやく言葉を、

チセ コロ カムイ エウン カ イノンノイタカン  
**cise kor kamuy eun ka inonnoytak=an**  
家の守り神に対しても祈り唱えて、

「タップネ カネ インカラン ア プ  
**“tapne kane inkar=an a p**  
「このようにして事態の推移を眺めていたところ

ネ ア プ ネ ルウエ ソモ ヘ アン<sup>[7]</sup>  
**ne a p ne ruwe somo he an**  
さっきのやつなのではないか

イネノ カネ アン ペ ネ アッカ  
**i=nenokane an pe ne y\_akka**  
私に似た姿をしているのだが、

イシネレ ルウエ ソモ ヘ アン セコロ ヤイヌアン ナ。  
**i=sinere ruwe somo he an sekor yaynu=an na.**  
私に化けているんじゃないかと思います。

カムイ ウタラ イセレマクシ ワ イコレ ヤン」  
**kamuy utar i=sermakus wa i=kore yan”**  
カムイたちよ、私をお守りください」

セコロ ハウエアナン コロ アナナイネ  
**sekor hawean=an kor an=an ayne**  
と私は言って、じっとしていたところ、

イペ ヒネ タネ オホンノ アン テク コロ  
**ipe hine tane ohonno an tek kor**  
食事をして、ちょっと時間が経つと

カトゥン シリ シンナイ ノ アン ルウエ ネ アクス  
**katun siri sinnay no an ruwe ne akusu**  
様子がおかしくなったので、

オラノ ウタシパ ウヌカン ランケ ヤッカ

**orano utaspa unukar\_ ranke yakka**

すると互いに顔を見合わせながらも、

ウコパロルイ ネア アマトウタリ キ コロカ

**ukoparoruy nea a=matutari ki korka**

その私の妻たちは饒舌におしゃべりをしていたが、

ウコパロルイ コロカ ラポツケヘ コント

**ukoparoruy korka rapokkehe konto**

おしゃべりをしていたが、その間、

オアラ カトウン シリ ウエン シンネ ノイネ イキ ア プ

**oar katun siri wen sinne noyne iki a p**

(その者は) とても調子が悪そうにしていたが、

アロロキシネ ソイネ ルウエ ネ ヒネ

**arorkisne soyne ruwe ne hine**

こっそりと外へ出た様子で、

チセ ハラキシソ ペカ エロンネ ワ シキル シリ アヌカラ アクス<sup>[8]</sup>

**cise harkiso peka eronne wa sikiru siri a=nukar akusu**

家の左手(裏)を通して上手へと向かう様子を私は見ていると、

オロワノ ウコラットプトポ パ ワ

**orowano ukorattoptopo pa wa**

(妻たちは)二人で互いに眉を動かし合図をして、

ウコピイタク パ コロ オカ ルウエ ネ アイネ

**ukopiitak pa kor oka ruwe ne ayne**

ひそひそと言葉を交わしていると、

ヌサ オロ パク アラパ コロ エシッチウ ルウエ エネ アニ

**nusa or pak arpa kor esitciw ruwe ene an h\_i**

(その者が)幣のところまで進んで倒れたのはこのようであった――

ソレクスワ フレ トンプク<sup>[9]</sup> は(?) イカクシテ アペコロ アン  
sorekusuwa hure tonpuku WA(?) ikakuste apekor an  
それこそは赤い道服を上から着ているような

エムコホ オロワノ チポロ ペ オロ<sup>[10]</sup> アオタ  
emkoho orwano cipor pe or a=ota  
体の半分は筋子を潰した汁をかけたような赤い色をして、

エムコホ ワノ チコロ…… チクル……  
emkoho wano cikor... cikur...  
体の半分は

チクイ パシ オロ アクシテ アペコロ アン  
cikuy pas or a=kuste apekor an  
粉墨にくぐらせたような黒い色をした

フレ カムイ ライ ワ トウルセ ヒネ アン ルウェ ネ アクス  
hure kamuy ray wa turse hine an ruwe ne akusu  
赤色の熊が死んでぼったり倒れたのであって、

オラウン ヒネ パシロタアン。  
oraun hine pasrota=an.  
私はそいつをののしった。

フンタ イエヤイラムシ…… エカスレ<sup>[11]</sup> クス  
hnta i=eyayramusi... ekasure kusu  
何を私を出し抜こうとして、

エネ サン ルウェ アヌカラ アクス  
ene san ruwe a=nukar akusu  
このように山を下りてきた様子を見られて、

オラウン カムイ シコイパクテ<sup>[12]</sup> プ ネ クス  
oraun kamuy sikoypakte p ne kusu  
そしてカムイが腹を立てたために、

アイヌ マツ アイヌ<sup>[13]</sup> ネ アペコロ オカ ヤツカ

aynu mat aynu ne apekor oka yakka

人間の女のような姿をしていたが、

カシカムイェ ユプケ ワ シリキ ヒ ネ セコロ アン ペ

kasikamuye yupke wa siriki hi ne sekor an pe

その守り神が強力なので、そのようなことなのだとということ、

イノノイタカナ アナ コロ アフナナクス

inonoytak=an a =an a kor ahun=an akusu

私は何度も祈りの言葉を唱えて（家の中へ）入ると、

ネア アポロマチ ネ クナク アラム ア イケ エネ ハウエ アニ。

nea a=poromaci ne kunak a=ramu a h\_ike ene hawe an h\_i.

その第一の妻のように見えた方の者がこのように言った。

「タン アコン ニシパ イタカン ワ エイヌ カトウ エネ アニ。

“tan a=kor\_ nispa itak=an wa e=inu katu ene an h\_i.

「私の主人よ、これから私が話してあなたが耳にするのはこのようなことですよ。

アシヌマ アナクネ エコロ イナウチパ オツ タ アン

asinuma anakne e=kor inawcipa or\_ ta an

私はあなたの幣場に生えている

チュクペニ カムイ アネ ルウエ ネ。

cukupeni kamuy a=ne ruwe ne.

エンジュのカムイなのですよ。

オラウン イネ ウレペツ ウシ ペ エコパクン シキル ノイネ

oraun ine urepet us pe e=kopak un sikiru noyne

そして四本の指が付いた者（魔熊）がお前の方へ向かっているように

インカラニクス

inkar=an h\_ikusu

見えたものだから

スルク トノマツ イヨッタ ヌプリケヘ アニスキネ  
surku tonomat iyotta nupur h\_ikehe a=nisuk h\_ine  
トリカブトの女神のなかでも最も巫力が強い者に私は依頼して、

アラキアン ルウェ ネ ワ  
arki=an ruwe ne wa  
二人でやって来て

エトコ アオスケ ワ エエトコ アオスケ ルウェ ネ アク アイェ コロ  
etoko a=osuke wa e=etoko a=osuke ruwe ne y\_ak a=ye kor  
私たちは料理の支度をして、あなたの料理の支度をすると言いながら

エトコ アオスケ ワ アイペレ ルウェ ネ ワ  
etoko a=osuke wa a=ipere ruwe ne wa  
私たちは料理の支度をして、その者に食べさせて、

タネ スルク エコッ ルウェ ネ クス  
tane surku ekot ruwe ne kusu  
今や毒によって死んだので

オラウン モシマノ エアニヤク ワカ<sup>[14]</sup> ウェン クス  
oraun mosmano e=an y\_ak waka wen kusu  
あなたがそのままにしているとかえって悪いので、

ナニ エホプニレ ワ ニツネ イナウ ポカ エコアシ<sup>[15]</sup>  
nani e=hopunire wa nitne inaw poka e=koasi  
あなたはすぐに送り返して、魔神に捧げるイナウだけを立てて、

オラウン カムイ ウタラパ エウン エエヨンヌッパ ワ  
oraun kamuy utarpa eun e=eyonnuppa wa  
偉いカムイに向けて何が起きたのかを告げて

『テ ワノ アナクネ  
'te wano anakne  
『これからは

イテキ アイヌ オルン ネノ ウェニラモッカ ヤク ピリカ  
iteki aynu or un neno weniramokka yak pirka  
人間に対してそのような悪いいたづらをするなよ

フンタ エヤイラムイカスレ アイヌ オルン キ クス  
hnta eyayramuikasure aynu or un ki kusu  
何で人間に対して出し抜こうとして

エネ イキ ヒ ネ ヤ ネ ヤ』  
ene iki hi ne ya ne ya'  
そのようにしたのか』

セコロ エハウエアン コロ  
sekor e=hawean kor  
とあなたは言って、

エエヨンヌッパ サマ エエイカシパオツテ コロ  
e=eyonnuppa sama e=eykaspotte kor  
告げ口をして、そいつのことについて指令を下したら、

カムイ ウタラ エウン カ イナウ エアシ。  
kamuy utar eun ka inaw e=asi.  
カムイたちにもイナウを立てるのですよ。

オラ ネアプ カ ニツネ イナウ ポカ エコロシキ ヤク ピリカ ナ。  
ora neap ka nitne inaw poka e=koroski yak pirka na.  
そんなものにも魔神に捧げるイナウだけは立てるといいですよ。

モシマノ シラナク ポオ ウエン ナ」  
mosmano siran y\_ak poo wen na”  
何もしないままだと一層よくないですよ」

セコロ カネ ハウエアン ヒネ  
sekor kane hawean hine  
と（その二人は）言って

オラウン ソイエンパ ヒネ イサム ルウエ ネ。

oraun soyenpa hine isam ruwe ne.

そして外へ出て、去っていった。

スルク トノマツ カ アコオンカミ ア アコオンカミ ア ルウエ ネ。

surku tonomat ka a=koonkami a a=koonkami a ruwe ne.

毒の婦人にも私は何度も礼拝をした。

オラウン コント イルシカアン コロ

oraun konto iruska=an kor

そして私は腹を立てて、

イシムネ ネア フレ カムイ アリ ヒネ アコイキ ア アコイキ ア

isimne nea hure kamuy a=ri hine a=koyki a a=koyki a

翌日その赤色の熊を解体して何度も叱りつけて、

コント ヌサ コロ カムイ エウン カ アエヨンヌッパ ア イ アイェ コロ

konto nusa kor kamuy eun ka a=eyonnuppa a h\_i a=ye kor

幣場のカムイへも私は色々と報告を述べて、

「フンタ イエヤイラミカスレ クス イシネレ ワ アフン ワ

“hnta i=eyayramikasure kusu i=sinere wa ahun wa

「何を私を出し抜こうとして、私に化けて入って行って

オラ エポソカネ エネ イ アン シリ カムイ ウタン ヌカラ ペ ネ クス

ora eposokane ene h\_i an siri kamuy utar\_ nukar pe ne kusu

すると、やはりことの次第をカムイたちが見ているものだから、

アコン ヌサ オロ ワ カムイ フチ ウテク ワ

a=kor\_ nusa or wa kamuy huci utek wa

私の幣場からも火の媼神がカムイを使いに出して、

チュクペニ カムイ ヌサ オツ タ アシ ペ カ エク ワ

cukupeni kamuy nusa or\_ ta as pe ka ek wa

エンジュのカムイ、幣場に立っている者が来て、

スルク トノマツ タノンタロ ワ エク ワ

**surku tonomat tanontaro wa ek wa**

トリカブトの女神に頼んで、(トリカブトの女神が) 来て

トゥン ネ ワ エパロスケ シンネ クス エエラマナク ピリカ。

**tun ne wa e=parosuke sinne kusu e=eraman y\_ak pirka.**

二人であなたに食べさせたのだから、あなたは覚えておくといい。

テ ワノ アナクネ イテキ ネノ アン ウェン プリ エコロ ヤクネ

**te wano anakne iteki neno an wen puri e=kor yakne**

これからはそのような悪い振る舞いをあなたがしなければ

カムイ ウタラパ イリワキ エネ プ ネ クス

**kamuy utarpa irwaki e=ne p ne kusu**

偉いカムイとあなたは兄弟であるのだから

カムイ エウタンネ エエアシカイ ペ ネ ナ。

**kamuy eutanne e=easkay pe ne na.**

あなたはカムイの一族でいられるのだよ。

イテキ ネノ アン ウェン プリ コロ」

**iteki neno an wen puri kor”**

そのような悪い振る舞いをしてはいけないよ」

セコロ アイエ コロ アカシパオツテ コロ

**sekor a=ye kor a=kaspaotte kor**

と私は言いながら説教をして、

アホプニレ ルウェ ネ アクス ネ アンチカリ ウェンタラパン。

**a=hopunire ruwe ne akusu ne ancikari wentarap=an.**

私は帰って来るとその夜に夢を見た。

フレ トンプク イカクシテ オラウン レク ネ コロ ペ

**hure tonpuku ikakuste oraun rek ne kor pe**

赤い道服を上に着て、髭を生やした者が、

フレ レク タンネ レク レララ カシセシケ カネ

**hure rek tanne rek rerar kasiseske kane**

赤い長い髭が胸を覆っていて、

フレ オトプ タンネ オトプ ノヤプ ホントモ チコエトウイエ<sup>[16]</sup> コロ

**hure otop tanne otop noyap hontomo cikoetuye kor**

赤く長い髪が顔の途中でざっくりと切り揃えられていて、

イルシカ ワ オケレ ヒネ アニネ エネ ハウエアニ。

**iruska wa okere hine an h\_ine ene hawean h\_i.**

憤懣やるかたない様子で、次のように話した。

「アシヌマ ウェナン ワ オラ エネ イキアニネ

**“asinuma wen=an wa ora ene iki=an h\_ine**

「私は性質が悪くてこのようなことをしてしまって、

アイヌ メノコ ウタン ネ ルウェ ネ クナク アラム コロ

**aynu menoko utar\_ ne ruwe ne kunak a=ramu kor**

人間の女たちだと思って

アランモッカ クス エカン ア プ

**a=rammokka kusu ek=an a p**

(その女たちを) からかいに来たのだが、

エイワク ワクス

**e=iwak wakusu**

お前が帰って来るので

スプヤ アッ シンネ クナク アラム クス アフナン アクス

**supuya at sinne kunak a=ramu kusu ahun=an akusu**

(炊事の) 煙が立っているようだと私は思って (亭主のふりをして) 入っていくと、

エネ エポンマチ エポロマチ ネ クナク アラム プ オカイ ペ

**ene e=ponmaci e=poromaci ne kunak a=ramu p okay pe**

そのようにお前の二番目の妻と最初の妻だと私が思った者たちがいたが、

オラ ミナ トウラ

**ora mina tura**

笑みを浮かべて、

「アヘコテ ニシパ シンキ イポロ コン ルウエ ポオ タプ<sup>[17]</sup>」

**“a=hekote nispa sinki ipor kor\_ ruwe poo tap”**

「私の旦那様が疲れた顔をしているから、尚更（食べないといけませんよ）」

セコロ ハウエオカ コロ

**sekor haweoka kor**

と（彼女たち二人が）言って、

イイペレ パ ヒクス カムイ イコイパク ペ ネ クス<sup>[18]</sup>

**i=ipere pa hikusu kamuy i=koypak pe ne kusu**

私に食事を勧めるので、カムイが私に罰を与えて

イペアン ルスイ カ キ イクス

**ipe=an rusuy ka ki h\_ikusu**

私はお腹が空いてもいたので、

イペアン ルウエ ネ アクス イルカ ネ コロ スルクカラニネ

**ipe=an ruwe ne akusu iruka ne kor surkukar=an h\_ine**

私は食事をすると短い間で毒にあたって、

オアラ アネアイカパン ノイネ インカラン アクス

**oar an eaykap=an noyne inkar=an akusu**

ただそこにいることもできなさそうな状態になったので（？）、

アイパウチエレ<sup>[19]</sup> ノイネ ヤイヌアン オラ ソイネアン ア プ

**a=i=pawciere noyne yaynu=an ora soyne=an a p**

私は毒を食べさせられたようだと思ったので、外へ出たのだけれど、

ヌサ トウカリ タ トウルセアニ パクノ ネ ルウエ ネ アクス

**nusa tukari ta turse=an h\_i pakno ne ruwe ne akusu**

幣の手前で倒れたまで（のところで死んだの）だが、

アイヌ ヘ タプ エネ カトゥ アン クス

**aynu he tap ene katu an kusu**

このような姿をしていて（お前は）人間なのだろうか

アウタリ エウン カ イサム エイカシパオツテ カ イエヨンヌツパ カ キ ワ

**a=utari eun ka i=sam eykaspotte ka i=eyonnuppa ka ki wa**

（もう既に）私の同胞たちに私のことを伝えて、告げ口をしたので、

アイウココパシロタ アイウココイキ コロカ オラウン

**a=i=ukokopasrota a=i=ukokoyki korka oraun**

私は罵声を浴びせられて殴られたのだが、

カムイエウタンネアン クニ キマッタロ ルウェ ネ クシ

**kamuyewtanne=an kuni kimattaro ruwe ne kus**

私はカムイの仲間ですらに決まっていたので、

オラ アエコヤブ…… ヤパプ クス

**ora a=e=koyap... yapapu kusu**

私はあなたに謝ろうと思って、

アウタリ アカシパオツテ ワ

**a=utari a=kaspotte wa**

私の同族たちに言伝てをして、

オラ ポ ヘネ エイソン クニ ネ ハウエアナン クシ ネ ナ。

**ora po hene e=ison kuni ne hawean=an kus ne na.**

なお一層あなたが狩猟の獲物に恵まれるように言おう。

イテキ テイネモシルン アラパアン クニ イエイノンノイタク ワ イコレ。

**iteki teynemosir un arpa=an kuni i=eynonnoytak wa i=kore.**

（だから）地底の国へ私が行ってしまうように祈るのはやめておくれ。

ヤク エセレマカ アウシ クシ ネ ナ」

**yak e=sermaka a=us kus ne na”**

そうしたら私はあなたを守護しよう」

セコロ ウェンタラパン

sekor wentarap=an

と言う夢を見たので、

オラ パシロタアン カ オンカミアン カ キ コロ

ora pasrota=an ka onkami=an ka ki kor

私はののしったり拝礼をしたりすると、

オラウン シノ ポロ プ スマウエ アコロ ヒネ サナン ルウエ ネ ヒネ

oraun sino poro p sumawe a=kor hine san=an ruwe ne hine

本当に私は大きなもの、クマの獲物を手に入れて戻ってきて、

オラウン カムイ サパ アセ ワ サナン ペ ネ クス

oraun kamuy sapa a=se wa san=an pe ne kusu

熊の頭を背負って山を下ってくるので、

ポ ヘネ ウナフンケアン ワ マラプトコラン カシ ウン

po hene unahunke=an wa maraptokor=an kasi un

いっそう人を招待して酒宴を催した上、

オラウン ネア チュクペニ カムイ カ アコイプニ

oraun nea cukupeni kamuy ka a=koypuni

そのエンジュのカムイにも食物を供したり、

イナウ アコレ イナウ タクタク…… アコタクタク オラウン

inaw a=kore inaw taktaku... a=kotaktaku oraun

イナウを供したり、イナウを私は付けて捧げて、

「スルク トノ マツ エウン

“surku tonno mat eun

「トリカブトの婦人へも、

タパン さけ タパン イナウ エアラパレ ワ イコレ プ ネ ナ」

tapan SAKE tapan inaw e=arpare wa i=kore p ne na”

この酒とこのイナウを送って、下さいな。」

セコロ ハウエアナン コロ

**sekor hawean=an kor**

と私が言うと

イナウ シンノ チキ オラウン ワ アヌ。

**inaw sinno ciki oraun wa a=nu.**

XXX (?)。

ネ ワ アン ペ ポ アエピリカ シンネ クニ アラム まるって

**ne wa an pe po a=epirka sinne kuni a=ramu MARUTTE**

そのことで私はもっと暮らし向きが良くなるように思うと、本当に

アルオカケ アルエトコ チョイランケ コロ アナン ルウェ ネ アイネ

**a=ruokake a=ruetoko coyranke kor an=an ruwe ne ayne**

私の進む後ろにも前にも獲物が授けられているようで、

オラウン ネア アコロ ポン ヘカチ ポロ

**oraun nea a=kor pon hekaci poro**

そしてあの私のちいさな息子も大きくなって、

タネ エアラキンネ ポロ ワ オケレ アクス

**tane earkinne poro wa okere akusu**

今や本当に大きくなって、

スイ オシ マッカチ アポンマチ コロ ワ

**suy os matkaci a=ponmaci kor wa**

また続いて私の二人目の妻は娘も生んで、

ネ ポン ワ アン マッカチ アナク

**ne pon wa an matkaci anak**

その小さい娘を、

シンノ アコロ カツケマツ オマプレス コロ オカアン アイネ

**sino a=kor katkemat omapresu kor oka=an ayne**

私の第一の妻もとてもかわいがって育てながら、私たちは暮していて、

タネ ポロ オッカヨ ネ ワ エネ クアリアニ アエパカシヌ カ キ ワ  
tane poro okkayo ne wa ene kuarian h\_i a=epakasnu ka ki wa

(息子は) もう少年の歳になって、私が仕掛け弓を置くことを教えたりもして、

イトウラ ワ クワリアン コロ

i=tura wa kuari=an kor

私と一緒に仕掛け弓を置いたりして、

イネアプ エアシカイ ワ シリキ ヤ カ アエラミシカリ コロ

ineap easkay wa siriki ya ka a=eramiskari kor

なんとまあ上手に (息子は) それをして

アオマプレス コロ オカアナイネ

a=omapresu kor oka=an ayne

私たちはかわいがって育てていて、

タネ オロワノ ポ ヘネ チュクペニ トノ アノミ

tane orowano po hene cukupeni tonon a=nomi

いっそうエンジュのカムイに祈りを捧げ、

ヌサ オツ タ アン ペ ネ クス キ コロ

nusa or\_ ta an pe ne kusu ki kor

幣棚の所にいるものなので私は祈りを捧げ、

オカアナイネ オンネアン ペ ネ クス

oka=an ayne onne=an pe ne kusu

そうして暮らしていると、私は年を取ってきたので、

アポホ カ ネプ タネ ヤイラメコテ シリ アヌカラ コロ アナナイネ

a=poho ka nep tane yayramekote siri a=nukar kor an=an ayne

息子がなんとまあ何かと私のことを気遣ってくれる様子を私は見ながら暮らしていて、

オンネアン ペ ネ クス

onne=an pe ne kusu

私は年をとったので

イオクヌレアン イナウ エコパシ アアシ チクニ

**iokunnure=an inaw ekopas a=asi cikuni**

驚いたことに、私がイナウをもたせかけて立てた木に

ナニ シンリッ ウシ ワ ヘトウク プ ピリカ チュクペニ ネ ア プ

**nani sinrit us wa hetuku p pirka cukupeni ne a p**

すぐに根が生えてきれいなエンジュになったのだが、

ネワアンペ イカ オピウキ スルク トノマツ クス…… アン クシケライ

**newaanpe i=ka opiwki surku tonomat kusu... an kuskeray**

それが私を助けてくれて、毒の婦人がいたおかげで、

トゥンネ ワ イシクヌレ ワ

**tunne wa i=siknure wa**

二人で私を救ってくれたので、

ソモ ヌプリ ケシ プリ ウエン クル イライケ プ ネ アクス

**somo nupuri kes puri wen kur i=rayke p ne akusu**

山裾の性質の悪いものに殺されなくてすんだので、

アエイソク…… アエイソイタク ナ。

**a=eysook... a=eysoytak na.**

そのことを私は物語るのだよ。

ネプ ネ アッカ アヌ ワ オカアン ペ ネ ナ。

**nep ne y\_akka a=nu wa oka=an pe ne na.**

なんであつても聞いておくものなのだよ。

セコロ シノ ニシパ イソイタク。

**sekor sino nispa isoytak.**

と本当の長者が物語った。

#### 【注】

- [1] kimは通常「山」と訳すが、厳密には「山のほう」「山手」という意味の、方向を表す語である。ここでは「kucacise から見て山手のほうに」という意味。

- [2] uwominausiusi 「みんなで大笑いする」(『沙流方言辞典』 p. 815)、ueminausiusi 「笑い合う」(片山龍峯氏採録資料 テープ No72-B、鍋沢強巳氏の発言)。
- [3] opentari 「素性を言う。(…) \*困って神々に頼みごとをする時」(『萱野辞典』、p. 180)。この場合は opettari と聞こえるか。
- [4] inaotumbu 「a box filled with inau shavings」(『バチエラ一辞典』 p. 191)。  
cisekorkamuy は沙流川では壁に挿してあるが、さらに東に行くと並べて台に立ててあるという。
- [5] ene ne wa kotusa kuni 「どうしたら治癒するか」(『神話集成』 第7巻 p. 122)。(『音声資料』 No. 3)。
- [6] po tak 「ナホ更、ナホ一層」(『久保寺辞典稿』 p. 213)。
- [7] 上に湿地帯へ四つ指の魔熊が入って言った跡を見て危険を察知するというくだりがあるので、そのことと結びつけて推察しているのだと解釈した。
- [8] 家の外側のその辺りをつたってやってくる様子を主人公は窓から眺めているという構図になっている。
- [9] tunpuku 「道服；道士の着る着物。\*これはウウェペケレなどで神様が着ている着物として出て来る。huretunpuku ikakuste kamuy an wa と描写されている。トンプクとはどんな着物だろうか和人のらしいが、と私が聞くと東京の岡村吉右衛門さんが道服という着物があるからそれかも知れないと教えてくれたので、トンプク=道服とした」(『萱野辞典』 pp. 338-9)。
- [10] 『沙流方言辞典』では emko cipor pe a=ota emko cikuy pas a=kuste apekor an kameasi (半分は筋子をつぶしてぶっかけたような、半分は粉墨をまぶしたようなばけもの) (p. 53 など)、『萱野辞典』では wenyuk anakne emkoho cipor pe a=ota pekor emkoho ci=kuy pas or a=kuste apekor an pe ne sekor uepeker or\_ ta a=ye p ne (どうも熊は身体の半分が筋子を潰した汁をかけたような赤い色、体半分は消し炭を嚙んだ汁にくぐらせたような黒い色をしていると昔話の中では言われるものだ) (p. 303 など)。この部分は cipor pe or a=kuste と言われることもあるので、二つの形が混ざったか、後ろとの形を合わせようとしてこのように言ったのではないか。
- [11] eyayramu-ikasure 「(人の) 上になる、(人) より上位に立つ、(人) に負けずにする」(『沙流方言辞典』 p. 159)。ここの si は言いさしで、下の方で yayramuikasure という形を言っている。
- [12] shikoipakte 「憤る、怒る、怒らず」(『久保寺辞典稿』 p. 243)。
- [13] 鍋沢元蔵筆録、扇谷昌康ローマ字化・訳、1966 『アイヌの祈詞』(門別町郷土史研究会) : p. 131 及び『神謡・聖伝の研究』 p. 131 に同じ表現がみられる。
- [14] waka 「【副】かえって。なおさら。」(『千歳方言辞典』 p. 430) ; waka wen na 「かへって悪い」(『久保寺辞典稿』 p. 305)。
- [15] あえて粗末なイナウを捧げるということ。

- [16] chikoetuipa 「切つてある、ぞっくりと揃ふ」、chikoetuye 「同じ長さにたれ下る」  
（『久保寺辞典稿』 p. 43）。解体されると髪も短くなるようだ。
- [17] poo tap 「ナホ更」（『久保寺辞典稿』 p. 212）； po tap （『神謡・聖伝の研究』 p. 464）。
- [18] 既にエンジュのカムイとトリカブトのカムイが、その力によってお腹がすくように仕向けていたということか。
- [19] ipawciere 「毒を食わせる」（『萱野辞典』 p. 68）。辞書では i-pawci-e-re で「毒を食わせる」となっているが、これでは項数が合わず、i-は人称接辞なのではないか。